

# 宮本哲也式算数パズル

※著作権がありますので、真似て作ってみたものです。間違いがあったらごめんなさい。

## ルール

- ①マスの中には1～3の数字が入ります。
- ②どの列(たて、横とも)にもには1～3の数字が1つずつ入ります。
- ③書かれている数字は太線で囲まれたマスの和(足した数)です。

こういったものはダメです。

主に②のルールを意識してもらえると取り掛かれると思います。

この3つのルールを基に解く算数パズルです。

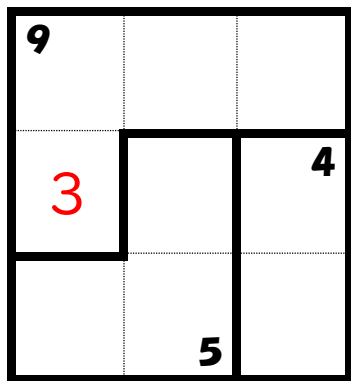
6	2	1	3	7
	2	3	3	
	2	1	1	5

では解いてみてください!!!


解説は次のページ、解答は最後のページにあります。

9			
			4
			5

このパズルは、試行錯誤しながら解くこともできますが、筋道を立てて考えていくことで、解いていくことが可能です。



まず「9」を考えます。

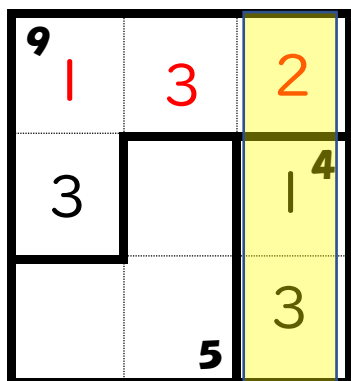
ここでの「9」は「1+2+3+3」でしか表せません。その事を考えると自然と一つの「3」の場所が決まります。「3」は必ず  の上と下に分かれておかなければなりません。(ルール②)

そのため上の3の場所は決められないですが、下の3は決めることができます。



次に埋められる所は「4」の場所です4は

「1+3」でしか表せません。そして先ほど決まった「3」とルール②を考えると下は「3」上は「1」と決まります。



次にまた「9」に戻ります。「9」の右上がルール②によって2と決まります。(下に1,3がある)

そして「9」になるために、残りの1と3を埋めます。ルール②を意識しましょう。左下に「3」があるため左が「1」右が「3」です。

最後はルール②を考えるだけでも解けますし、「5」に着目しても同じように解けます。

答え→

9 1	3	2
3	2	1 <sup>4</sup>
2	1 5	3

このような手順を私は踏みましたが、この解き方以外にも様々な道筋があります。

このパズルの良いところは

- ①解けたらうれしい！！
- ②数の構成を多角的に捉えることができること(6は  $1+5, 2+2+2$  などの見方)
- ③論理的に道筋を追えること

だと私は考えます。(きつもっとあると思いますが、)

③の段階まで行けたら理想的だと思いますが、①、②だけでも十分に意義があることだと思いますので、取り組んでみてはいかがでしょうか。高学年バージョンとかになると  $5 \times 5$  の問題になったり、掛け算バージョンになったりもします。かけバージョンですと、自然と素因数分解を身に着けることができ、素数を感覚的に理解することもできると思います。